

令和元年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	9	議席 番号	3	氏名	近 藤 千 鶴 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1				富士宮市立病院の生き残りをかけた医師確保を市の最重要課題に位置付け、一丸となってやっていくためには	<p>平成29年度の市民意向アンケート調査では重要度が最も高いのが病院問題でした。自治体病院が生き残れるのは、たくさんの医師が勤務してくれることです。医師に選ばれるような富士宮市になることが喫緊の課題だと思います。その視点に立って質問します。</p> <p>(1) 医師確保に向けての現状。</p> <p>① 380床規模の病院での必要医師の数は。</p> <p>② 大学との良好な関係が求められると思いますが、過去10年に大学を訪問した回数と内訳は。</p> <p>③ ホームページの充実も医師確保に欠かせませんが、富士宮市立病院のホームページの閲覧数とホームページの作成にかかった費用は。</p> <p>④ 他の市町村と違う医師確保の政策はありますか。</p> <p>(2) 今後の活動。</p> <p>① 医師への感謝やコンビニ受診をしないなど、市民としてできることは。</p> <p>② 議員としてこの問題を活動テーマとして続けていきますが、市と一緒にやっていけるところはありますか。</p>	市長 病院長 関係部長
2				渇水や早川支流の汚泥不法投棄による影響が心配されている富士川について	<p>近年の少雨化傾向により富士川の渇水が深刻です。また昨今、山梨県の早川支流での汚泥の不法投棄が問題になり、富士川の濁りを地域住民や関係者の方が心配しています。新河川法においても環境や保全に配慮しなければいけないとうたっている今、この富士川の渇水や濁りについて質問します。</p> <p>(1) 現状を分析して。</p> <p>① 水資源は流域が共有する資源です。正常な流量を確保することが尊重されるべきだと思います。また山梨の十島付近で発電のために取水され、導入管を通して駿河湾に直接放流されることから循環型ではなく水が富士川に戻りません。この既得水利権をどう考えますか。</p> <p>② 早川水系での汚泥の不法投棄の問題は富士宮市や他の市町村に大きな影響を与えています。この問題を市としてどのように考え、かかわっていくことができますか。</p>	市長 関係部長